

第2期 小郡寺子屋「志学舎」報告書【第1講座 日帰り研修（中富記念くすり博物館）】

開催日 2023/07/15（土）

●時間 09:20～16:30

●会場 小郡市生涯学習センター、中富記念くすり博物館

●参加者 ■志学舎第2期生（14名） 1名早退

■木村 貴志 塾長

■森 就子（実行委員）/西山 茂代（事務局）/
笹月 将（事務局）



●内容 小郡寺子屋「志学舎」 第2期生 第1講座

09:20～09:45 出欠確認等（小郡市生涯学習センター、ギャラリーに集合）

09:45～10:15 移動

10:15～12:00 中富記念くすり博物館にて研修

12:00～12:30 移動（小郡市生涯学習センターへ）

13:00～13:45 昼食

14:40～14:40 10原則朗唱、くすり博物館見学の振り返り

14:40～15:30 ロジックツリーを用いたレポート作成、「書く」ことについて

15:30～16:30 「学び方のテキスト」より「聞く」「話す」について、和食のマナー講座

●概要

志学舎第2期生の第1講座は、日帰り研修で、鳥栖市にある中富記念くすり博物館を訪れた。日本で二つしかない薬をテーマにした博物館で、塾生は、身近な薬について、その効果や歴史、作り方、日本ならではの薬の売り方、先人の知恵などを学んだ。博物館にある薬木薬草園には多種多様な薬草が生息しており、実際に見たり、触ったり、においを嗅いだりすることが出来た。

見学後は前回のレポートの振り返りやくすり博物館のレポート作成を行い、「読むこと」、「書くこと」について学びを深めた。

最後に和食のマナーについて、動画を参考にしながら、塾生一人一人がお椀とお箸を使って、お椀の持ち方、お箸の持ち上げ方などを学んだ。

●内容：

集合、講座開始。

○第1講座から参加する4名の塾生に入塾証書授与と簡単な自己紹介をもらった。①

○続いて前回（06/25）入塾式のレポートを数名選び、全員で読んだ。ここで「読む」練習。他人の考えを知り、自分との考えを比較する。

<塾長より>

- ・スピーチは「書く」ものではなく「話す」もの。
- ・意識を持って「読む」こと、「聞く」こと。アウトプット前提のインプットをすること。



①「みんなと楽しく、
たくさんの事を学びたいです。」

○中富記念くすり博物館へ移動。

・玄関にて集合写真を撮影。エントランスで簡単な説明の後、見学開始。塾長が準備した見学ワークシートを使って、塾長による展示の解説を聞く。②

1階にはくすりの目的、利用方法、世界の医学薬学の歴史、新薬が出来るまでのプロセスに関する展示があった。館内には1900年頃のロンドンにあった薬局が移設再現されているコーナーもあり、当時の薬局の様子を細かく知ることが出来た。

2階には日本の昔のくすり文化について学ぶコーナーがあり、生薬や田代売薬に関する展示を見学した。

・晴れてきたので、屋外の薬木薬草園へ向かう。③

ワークシートを埋めながら、多種多様な薬用植物を実際に見ることができた。普段見慣れている植物もあれば、なかなか目にすることが出来ない植物もあり、貴重な体験となった。

・残り時間は自由に見学。

塾生がそれぞれ気になる展示や、まだワークシートを記入できていない箇所を巡った。

○生涯学習センターへ移動。お昼休憩後、講義再開。

・10原則朗唱。④

<塾長>ABCを大事にする。これが習慣として出来るかどうか。手を抜かずに物事に取り組めるかどうか。

A（あたりまえのことを）、B（バカみたいに）、C（ちゃんとする）

・10原則の項目一つ一つを塾長が詳しく解説。

特に7つ目「人のためになろう、国のためになろう、世界のためになろう」に関しては紀元前中国の教えにある「修身、齐家、治国、平天下」を挙げ、まずは自分自身を磨くことの重要性を説いた。

○くすり博物館見学の振り返り、レポート作成。⑤

・塾生一人一人に博物館での感想を述べてもらう。

・ロジックツリーを用いて、レポートの骨組みを作る。

○学び方のテキストを用いて。

・「聴く」こと、「書く」ことについて東井義雄先生の言葉に学ぶ。

<塾長>「書く」ことを繰り返すことで、考えが確立される。そうすると人間がしっかりしてくる。

・考えながら聞くという訓練をしていく。

○和食のマナーについて。

・まずはビデオを視聴しながら、和食におけるマナー（座敷において座る位置、座布団の座り方、座った状態での礼の種類など）について学ぶ。

・実際に一人一人にお椀、お箸、箸置きを用意し、ビデオに沿って正しい持ち方、持ち上げ方を確認した。



②熱心に塾長の解説を聞く塾生たち。



③薬木薬草園で薬草を探す。



④10原則を朗唱する塾生。



⑤ロジックツリーや自分のメモをもとにレポートを書いていく。